

35

時刻調整・画面の 焼き付き防止

この章では、GP-Pro EX の「時刻調整・画面の焼き付き防止」についての基本的な説明と、時刻データの変更・画面表示を OFF するための基本操作について説明します。

まず「35.1 設定メニュー」(35-2 ページ)をお読みいただき、目的に合った説明ページへ読み進んでください。

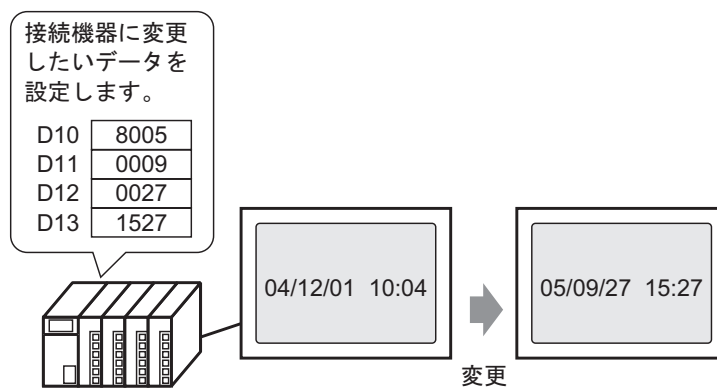
35.1	設定メニュー	35-2
35.2	時計を合わせたい	35-3
35.3	画面の焼き付きを防止したい	35-7
35.4	制限事項	35-11

35.1 設定メニュー

時計を合わせたい 接続機器に変更したいデータを設定します。 <table border="1"> <tr><td>D10</td><td>8005</td></tr> <tr><td>D11</td><td>0009</td></tr> <tr><td>D12</td><td>0027</td></tr> <tr><td>D13</td><td>1527</td></tr> </table> 04/12/01 10:04 → 05/09/27 15:27 変更 ☞ 設定手順 (35-4 ページ) ☞ 詳細 (35-3 ページ)		D10	8005	D11	0009	D12	0027	D13	1527
D10	8005								
D11	0009								
D12	0027								
D13	1527								
画面の焼き付きを防止したい 何も操作しないまま一定時間が経過... 10分経過 画面真暗 画面をタッチ 画面 OFF 後の最初のタッチで画面が表示します。 ある一定時間画面操作などが無かった場合、自動で画面表示を OFF します。									
接続機器で画面表示 OFF の操作をします。 D9 FFFF 設定入力画面 運転操作画面 運転状況画面 異常状況画面 画面をタッチ 画面 OFF 後の最初のタッチで画面が表示します。 接続機器 (PLC など) から GP の画面表示を OFF します。 ☞ 設定手順 (35-9 ページ)									

35.2 時計を合わせたい

35.2.1 詳細



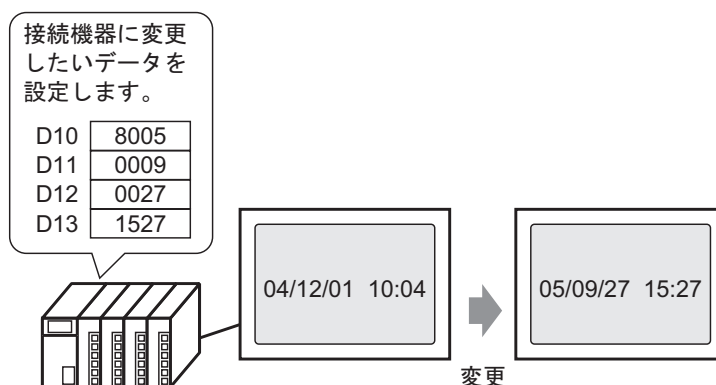
接続機器（PLC など）より GP 本体の時計データ (BCD) を修正します。

35.2.2 設定手順

MEMO

- ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 「5.14.6 [システム設定ウィンドウ] の設定ガイド システムエリア設定 (5-128 ページ)

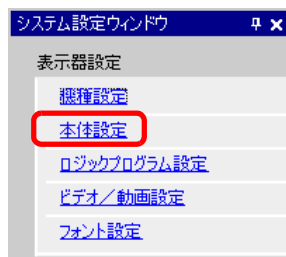


1 [システム設定ウィンドウ] タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。

**MEMO**

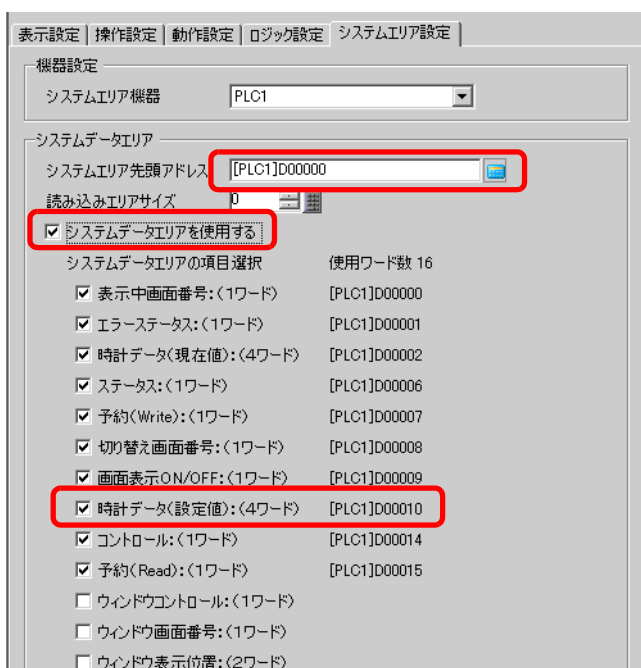
- ・ ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

2 [表示器設定] から [本体設定] を選択します。

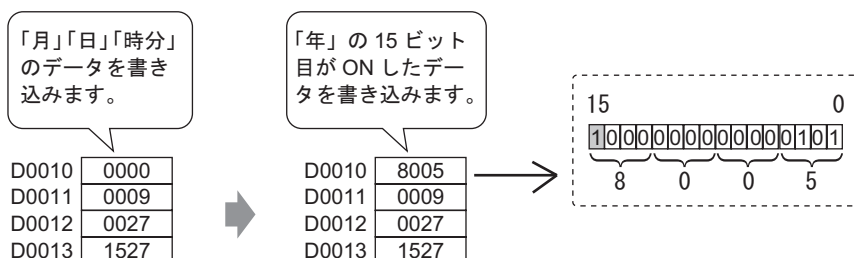


3 [システムエリア設定] タブを選択して [システムエリア先頭アドレス] を設定し、[システムデータエリアを使用する] にチェックを入れます。

[時計データ(設定値):(4ワード)] にチェックが入っていることを確認します。



- 4 [時計データ(設定値):(4ワード)]に表示されているアドレス(例:D0010 ~ D0013)に、変更したい時計データ(例:05年9月27日15時27分)をBCDで書き込みます。時計データはデータの書き換えフラグ(例:D0010の15ビット目)が変化(OFF→ONまたはON→OFF)すると書き換えられます。データを書き込む手順は以下の手順で行います。

**MEMO**

- 15ビット目がONしている場合は、15ビット目をOFFするデータを書き込むと、時刻が更新されます。
- 「秒」のデータ変更はできません。時計データを書き換えたときに「0」にリセットされます。

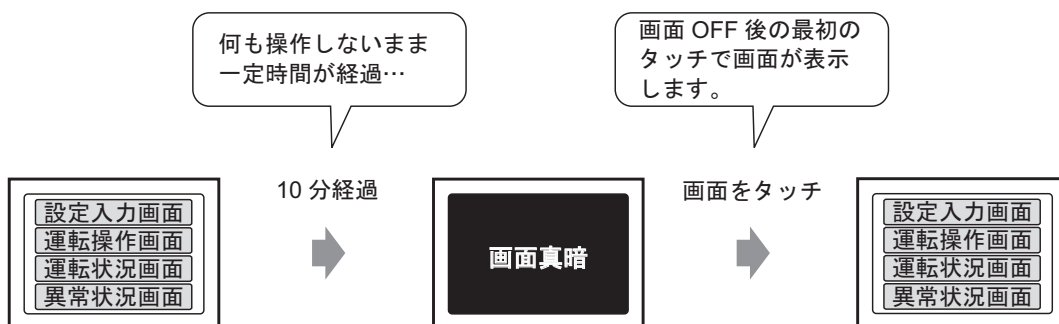
35.3 画面の焼き付きを防止したい

35.3.1 一定時間経過すると画面表示を OFF する場合の設定手順

MEMO

- ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 「5.14.6 [システム設定ウィンドウ] の設定ガイド 表示設定」(5-108 ページ)



ある一定時間画面操作などが無かった場合、自動で画面表示を OFF します。

- 1 [システム設定ウィンドウ] タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。



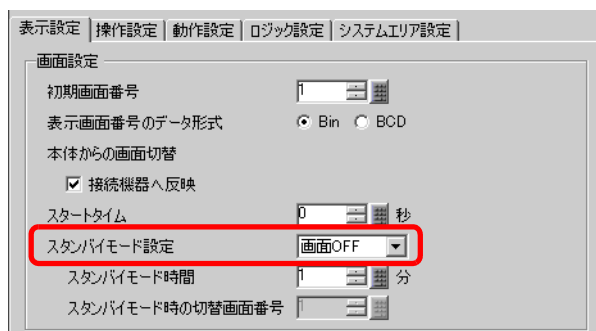
MEMO

- ・ ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

2 [表示器設定] から [本体設定] を選択します。



3 [表示設定] タブの [画面設定] で [スタンバイモード設定] を指定します。(例：画面 OFF)



4 [スタンバイモード時間] に設定時間を指定します。(例：10)



MEMO

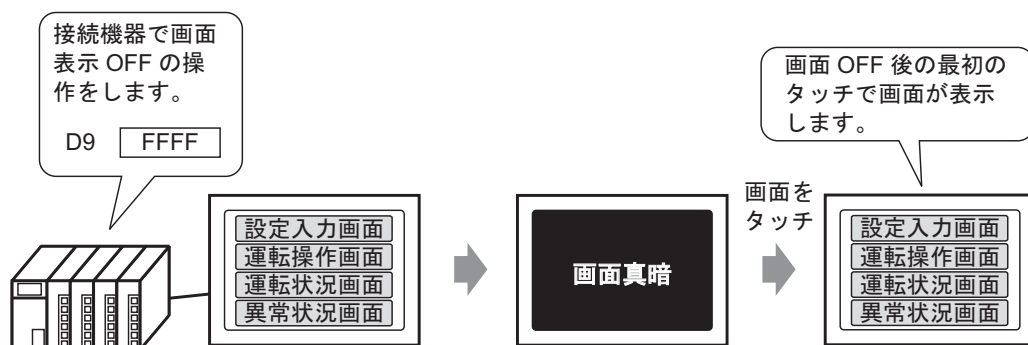
- ・ [スタンバイモード時間] で設定した時間内に、画面操作やアラーム発生 (流れ表示) などがなかった場合、画面表示が OFF します。再度画面を表示させるには、表示 OFF している画面を 1 回だけタッチします。

35.3.2 接続機器 (PLC など) から画面表示を OFF する場合の設定手順

MEMO

- ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 「5.14.6 [システム設定ウィンドウ] の設定ガイド システムエリア設定 (5-128 ページ)



接続機器 (PLC など) から GP の画面表示を OFF します。

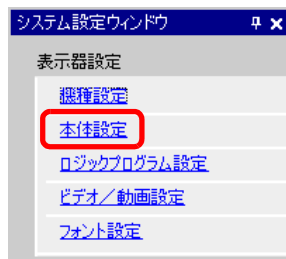
- 1 [システム設定ウィンドウ] タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。



MEMO

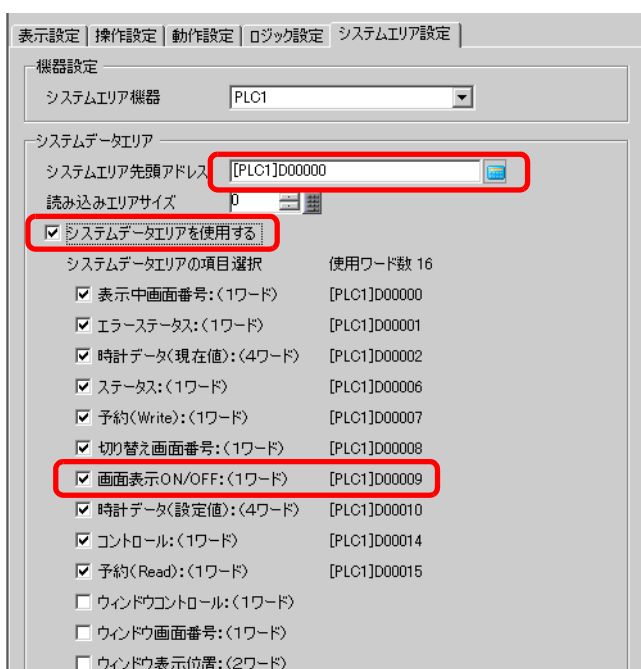
- ・ ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

2 [表示器設定] から [本体設定] を選択します。



3 [システムエリア設定] タブを選択して [システムエリア先頭アドレス] を設定し、[システムデータエリアを使用する] にチェックを入れます。

[画面表示 ON/OFF : (1 ワード)] にチェックが入っていることを確認します。



4 [画面表示 ON/OFF : (1 ワード)] に表示されているアドレス (例 : D0009) に、「FFFFh」を書き込むと GP の画面表示を OFF します。

MEMO

- 画面表示が OFF している画面を再度表示させるには、画面を 1 回だけタッチします。

35.4 制限事項

35.4.1 時計を合わせる際の制限事項

- 時計データはデータの書き換え用フラグが変化 (OFF → ON または ON → OFF) すると書き換えられます。「秒」のデータ変更はできません。時計データを書き換えたときに「0」にリセットされます。

例) 05 年 10 月 16 日 21 時 57 分

[時計データ (設定値)] アドレスの現在のデータが 0000 とします。

以下のアドレスに「月」「日」「時分」を書き込みます。

- [時計データ (設定値)]+1 に 0010
- [時計データ (設定値)]+2 に 0016
- [時計データ (設定値)]+3 に 2157

[時計データ (設定値)] のアドレスに、「年」の 15 ビット目を ON したデータ (8005) を書き込むと、時計データは書き換えられます。

- 時計データの [データ形式] は BCD で設定されます。
- メモリリンク方式を使用して、時計データを設定する場合はアドレスは 0004 ~ 0008 の 5 つを使用し、それぞれ (年、月、日、時、分) のデータを直接格納します。

35.4.2 画面を OFF する際の制限事項

- [スタンバイモード時間] を設定した場合、[画面表示 ON/OFF] アドレスのデータが「0000h」で、設定時間以上、次のいずれかの動作がない状態の場合に表示が消えます。
 1. タッチまたは接続機器で画面切替えをする。
 2. 画面をタッチ操作する。
 3. アラームメッセージ (流れ表示) を表示する。
 4. エラーメッセージを表示する。
- スタンバイモード時間は「1 ~ 255」の範囲で設定します。
- 画面表示 OFF 後の 1 回目のタッチ入力画面表示 ON としての動作となります。
- 接続機器 (PLC など) から画面表示を OFF する場合、[画面表示 ON/OFF] に設定したアドレスに格納される値が「FFFFh」ならば画面表示が消えます。「0h」の時は画面表示します。「FFFFh」, 「0h」以外は予約となります。

